



皆さん、こんにちは! いかがお過ごしですか?
くまさんデンタルクリニック、院長の北澤和也です。
最近話題の植物工場。都心のビルの中や工場の空きスペースで、光、温度、湿度、二酸化炭素、培養液などの生育環境を完全制御する計画生産システムのことで、すでに葉菜類やハーブなどが生産されています。今度はこの植物工場で、犬の歯周病薬を量産できる! というニュースがありました。遺伝的に同じ作物が生産できる果物のイチゴに、葉効成分のインターフェロンを組み込んで栽培するというものです。実際にビーグル犬では1週間で出血や腫れが引き、歯周炎の改善効果が確認できたそうです。驚きです! さて今月は、「噛めないことは認知症の高リスク」をお届けします。



歯 が抜けてしまったら、その部分を義歯(入れ歯、ブリッジ、インプラント)で補い、ちゃんと噛める状態にすることがとても大切です。つい先日も、「噛めないことは認知症の高リスク」になるという研究結果が報告されましたので、ご紹介したいと思います。

ア の調査は、厚生労働省の研究班(班長: 近藤克則 日本福祉大学教授)が、愛知県に住む65歳以上の健康な高齢者4,425人を対象として、事前に歯の状態などをアンケートし、4年間にわたって追跡調査したものです。その中で、期間中新たに認知症と診断された220人を分類し、口腔と認知症の関係を分析したもので、次のような結果でした。

- 自分の歯が20本以上ある人を基準とした場合、歯がほとんどなく入れ歯も未使用の人は認知症になるリスクが1.9倍。
(ちなみに歯がほとんどなくても、入れ歯を使っている場合は1.2倍)

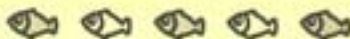
2 かたい物を噛めない人は、どんなものでも噛める人に比べ認知症のリスクが1.5倍。

3 かかりつけ歯科医院のない人は、ある人に比べ認知症のリスクが1.5倍。

記 認知症の原因のひとつは脳血管障害です。脳細胞に十分な血液が行き渡らず、部分的に機能が失われることで認知症となります。噛めない、又は噛めない高齢者で認知症のリスクが高くなったのは、脳への血流量が低下、あるいは脳への刺激が低下したためではないかと考えられます。また歯が抜ける原因のひとつである歯周病そのものが、血管閉塞の原因となる動脈硬化の進展に関与しているという疫学的な報告がいくつかあります。高齢者は、歯科診療所で定期健診を受け、口腔に起因する認知症の予防につなげることも大切といえます。



◆ 認知症予防にはよく噛むことが大切! かたい物も噛めるようにしましょう! ◆

口腔ケア新聞の発行にあたって 
ここ数年、外来患者さんやそのご家族から訪問診療のお問い合わせやご依頼を受けるケースがとても増えてきました。小さなご病気されてしまったことがきっかけで、寝たきりになってしまわれたりして、「いつもお元気でしたね」と話していたのに・・・そんなことが続いたので、これは本格的に訪問診療に取り組まなければいけないかなって、強く思うようになりました。

そこで取り組みの一環として、要介護者の歯と口に関する情報を地域の介護に携わっている方にお届けしようと考え、口腔ケア新聞を毎月1回発行しています。

くまさんデンタルクリニック

診療時間 平日9:00~19:30 土・日9:00~13:00

診療科目 一般歯科 小児歯科 予防歯科
訪問歯科

休診日 火・祝日   北澤 和也

市原市白金町3-4-4

☎0436-26-3666 📠0436-26-3667

http://www.kumasan-dent.com